

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名	積水化学工業株式会社	上場取引所 東
コード番号	4204 URL <a href="https://www.sekisui.co.jp">https://www.sekisui.co.jp</a>	
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 加藤 敬太
問合せ先責任者	(役職名) 取締役専務執行役員	(氏名) 上脇 太
四半期報告書提出予定日	2020年8月7日	TEL (03) 6748-6467
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有	配当支払開始予定日
四半期決算説明会開催の有無	: 有	-

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	214,751	△14.0	1,352	△87.5	756	△93.3	△526	-
2020年3月期第1四半期	249,655	3.2	10,829	14.9	11,372	△2.7	2,951	△61.2

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 11,285 百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △5,287 百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△ 1.16	-
2020年3月期第1四半期	6.37	6.37

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,111,076	634,738	54.6
2020年3月期	1,102,352	634,275	55.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 606,956 百万円 2020年3月期 609,309 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	23.00	-	23.00	46.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	23.00	-	24.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	488,000	△12.3	14,700	△64.6	15,400	△63.4	6,900	△76.7	15.17	
通期	1,107,400	△1.9	70,000	△20.2	69,000	△20.7	43,500	△26.2	95.66	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	476,507,285 株	2020年3月期	484,507,285 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	21,784,548 株	2020年3月期	27,712,523 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	455,715,777 株	2020年3月期1Q	463,389,925 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2020年4月27日に公表いたしました連結業績予想は、第2四半期連結累計期間について本資料において修正しております。また、通期について本資料において修正しておりません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
3. 参考資料	10
2021年3月期 第1四半期決算短信 説明資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①全社の概況

売上高2,147億円(前年同期比△14.0%)、営業利益13億円(同△87.5%)、  
経常利益7億円(同△93.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益△5億円(同―)

当第1四半期連結累計期間は、COVID-19の流行による、国内外の自動車・航空機の需要低迷、建築・インフラ関連の工事停止・遅延、国内の新設住宅着工数の減少、営業活動の制限などの影響が大きく、減収・各段階利益の大幅な減益となりましたが、全ての事業セグメントの営業利益および全社の営業利益、経常利益の黒字を確保しました。

固定費削減と構造改革の取り組みは順調に進捗しました。

#### ②事業セグメント別概況

##### 【住宅カンパニー】

売上高961億円(前年同期比△10.5%)、営業利益4億円(同△83.1%)

当第1四半期連結累計期間は、期初受注残の減少に加え、COVID-19の流行に伴う外出自粛等の影響による当期の受注不足や施工の遅延などにより、減収・減益となりました。

新築住宅事業については、緊急事態宣言に基づく外出自粛要請に伴い、展示場来店を中心とした集客が減少したことにより、受注は前年同期を下回りました。リフォーム事業については、定期診断などお客様との接触機会の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

施策面については、新築住宅事業では、WEB経由での集客確保、オンライン商談の体制強化や体感型ショールームの活用を図るとともに、比較的需要が堅調な分譲住宅の拡販に注力し、土地・建売在庫の確保に努めました。リフォーム事業では、定期診断専任担当者の設置などの体制整備を進めるとともに、浴室・蓄電池などの提案型商材の拡販を図りました。

##### 【環境・ライフラインカンパニー】

売上高448億円(前年同期比△12.6%)、営業利益0億円(同△98.7%)

当第1四半期連結累計期間は、国内・海外ともCOVID-19流行の影響による想定以上の市況悪化を受け、減収・減益となりました。

配管・インフラ分野については、早期に経済活動を再開させた中国・韓国でのプラント向けの需要が堅調でしたが、国内での住宅着工数の減少および工事の停止・延期、海外でのロックダウンなどの影響により、売上高は前年同期を下回りました。

建築・住環境分野については、国内での住宅着工数の減少および住宅・非住宅向け工事の停止・延期の影響により、売上高は前年同期を下回りました。

機能材料分野については、増加している医療関連部材需要の取り込みが着実に進捗しましたが、航空機分野の需要低迷に加えて、合成木材の海外における入札延期などの影響により、売上高は前年同期を下回りました。

## 【高機能プラスチックカンパニー】

**売上高620億円（前年同期比△21.0%）、営業利益24億円（同△73.1%）**

当第1四半期連結累計期間は、COVID-19流行による需要の大幅な低迷の影響を受け減収・減益となりました。

エレクトロニクス分野では、スマートフォンやタブレットなどモバイル端末の市況は想定をやや下回って推移しましたが、基板・半導体、部材固定、放熱製品などの非液晶分野への拡販の取り組みが順調に進捗し、売上高は前年同期をやや上回りました。

モビリティ分野では、COVID-19流行による自動車および航空機の著しい需要減退に伴い、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

住インフラ材分野では、塩素化塩ビ樹脂の販売がインドにおいて COVID-19 流行によるロックダウンなどの影響を受けたことに加えて、工事物件減少などの影響により耐火材料の販売が苦戦し、売上高は前年同期を下回りました。

## 【メディカル事業】

**売上高153億円（前年同期比△5.8%）、営業利益11億円（同△32.7%）**

当第1四半期連結累計期間は、COVID-19流行の影響により減収・減益となりました。

主力の検査事業では、国内外の外来患者数減少などの影響により、売上高は前年同期を下回りました。米国、アジアにおける COVID-19 検査キットの拡販は順調に進捗しました。また、米国のインフルエンザ検査薬など新製品の市場投入が進捗しました。

医療事業では、米国拠点のロックダウンの影響があったものの、医薬・酵素の受注回復により売上高は前年同期を上回りました。

**（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、COVID-19流行の収束が期初の想定より遅れ、それに伴う市況低迷の長期化が見込まれます。一方で、原材料価格が安値で推移していることや、固定費の削減を前倒しして推進していることなどを勘案し、2020年4月27日に公表した予想数値を下表のとおり修正します。

		今回予想	2020年4月27日に 公表した従来予想
売上高	百万円	488,000	505,600
営業利益	百万円	14,700	14,700
経常利益	百万円	15,400	15,400
親会社株主に帰属する 四半期純利益	百万円	6,900	6,900
1株当たり四半期純利益	円・銭	15.17	15.11

なお、通期の連結業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	76,819	85,599
受取手形	39,436	35,927
売掛金	134,688	103,306
有価証券	0	1
商品及び製品	73,744	85,897
分譲土地	50,580	52,903
仕掛品	56,554	63,264
原材料及び貯蔵品	36,311	37,430
前渡金	2,631	2,087
前払費用	5,237	5,700
短期貸付金	1,466	545
その他	15,789	17,869
貸倒引当金	△1,377	△1,402
流動資産合計	491,883	489,131
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	104,206	111,953
機械装置及び運搬具（純額）	84,284	92,173
土地	79,708	80,599
リース資産（純額）	18,520	17,957
建設仮勘定	38,905	27,484
その他（純額）	11,624	11,969
有形固定資産合計	337,250	342,138
<b>無形固定資産</b>		
のれん	57,346	55,018
ソフトウェア	9,571	10,521
リース資産	135	139
その他	34,015	31,720
無形固定資産合計	101,069	97,398
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	140,862	153,301
長期貸付金	1,379	959
長期前払費用	1,394	1,451
退職給付に係る資産	125	117
繰延税金資産	16,536	14,758
その他	13,884	13,872
貸倒引当金	△2,034	△2,051
投資その他の資産合計	172,148	182,408
固定資産合計	610,468	621,945
資産合計	1,102,352	1,111,076

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	3,002	2,638
電子記録債務	26,859	25,044
買掛金	101,914	83,799
短期借入金	8,446	21,061
コマーシャル・ペーパー	28,000	—
1年内償還予定の社債	19	19
リース債務	4,694	4,662
未払費用	41,097	36,306
未払法人税等	11,855	4,913
賞与引当金	18,162	14,129
役員賞与引当金	275	146
完成工事補償引当金	1,382	1,395
株式給付引当金	166	205
前受金	42,180	49,151
その他	46,155	50,604
流動負債合計	334,212	294,076
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	22,368	71,769
リース債務	14,137	13,643
繰延税金負債	4,291	4,061
退職給付に係る負債	47,170	46,933
株式給付引当金	479	528
その他	5,416	5,324
固定負債合計	133,864	182,261
負債合計	468,076	476,338
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,002	100,002
資本剰余金	109,273	109,216
利益剰余金	433,017	409,315
自己株式	△44,139	△34,129
株主資本合計	598,153	584,405
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,463	37,009
繰延ヘッジ損益	△16	△35
土地再評価差額金	321	321
為替換算調整勘定	△8,193	△6,732
退職給付に係る調整累計額	△8,419	△8,012
その他の包括利益累計額合計	11,155	22,550
新株予約権	64	61
非支配株主持分	24,901	27,720
純資産合計	634,275	634,738
負債純資産合計	1,102,352	1,111,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	249,655	214,751
売上原価	169,213	148,746
売上総利益	80,441	66,005
販売費及び一般管理費	69,613	64,652
営業利益	10,829	1,352
営業外収益		
受取利息	227	105
受取配当金	2,100	1,973
持分法による投資利益	369	161
雑収入	704	626
営業外収益合計	3,402	2,867
営業外費用		
支払利息	208	183
売上割引	98	93
為替差損	819	410
雑支出	1,732	2,774
営業外費用合計	2,859	3,462
経常利益	11,372	756
特別損失		
投資有価証券評価損	2,879	—
減損損失	1,736	—
固定資産除売却損	363	339
特別損失合計	4,979	339
税金等調整前四半期純利益	6,392	417
法人税等	3,026	791
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,366	△374
非支配株主に帰属する四半期純利益	414	152
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,951	△526



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,366	△374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,941	8,825
繰延ヘッジ損益	7	△37
為替換算調整勘定	△5,892	1,737
退職給付に係る調整額	202	407
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	725
その他の包括利益合計	△8,653	11,659
四半期包括利益	△5,287	11,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,216	10,868
非支配株主に係る四半期包括利益	△71	416

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,392	417
減価償却費	9,947	10,926
のれん償却額	710	1,136
減損損失	1,736	—
固定資産除却損	355	336
固定資産売却損益(△は益)	7	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,115	△4,040
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△365	△226
投資有価証券評価損益(△は益)	2,879	—
受取利息及び受取配当金	△2,327	△2,079
支払利息	307	277
持分法による投資損益(△は益)	△369	△161
売上債権の増減額(△は増加)	18,791	35,313
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,318	△21,928
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,008	△25,867
未払消費税等の増減額(△は減少)	△419	△596
前受金の増減額(△は減少)	7,955	6,973
預り金の増減額(△は減少)	4,563	6,654
その他	△3,500	△1,256
小計	14,222	5,881
利息及び配当金の受取額	2,756	2,120
利息の支払額	△309	△249
法人税等の支払額	△8,326	△8,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,342	△873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,713	△13,390
有形固定資産の売却による収入	76	143
定期預金の預入による支出	△2,045	△1,456
定期預金の払戻による収入	621	820
投資有価証券の取得による支出	△5	△112
投資有価証券の売却及び償還による収入	249	151
無形固定資産の取得による支出	△1,219	△748
子会社株式の取得による支出	△45	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△1,162	168
その他	411	801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,834	△13,621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	18,927	11,947
リース債務の返済による支出	△1,066	△1,234
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	5,000	△28,000
長期借入れによる収入	1,207	50,143
長期借入金の返済による支出	△1,411	△46
配当金の支払額	△10,703	△10,541
非支配株主への配当金の支払額	△168	△223
自己株式の取得による支出	△3,272	△2,762
株式の発行による収入	—	2,631
その他	11	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,523	21,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,282	663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	750	8,006
現金及び現金同等物の期首残高	68,613	74,721
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,646	138
現金及び現金同等物の四半期末残高	71,009	82,866

- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	計
	住宅	環境・ ライフライン	高機能 プラスチック	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	96,091	41,972	60,571	15,314	213,950	801	214,751
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	2,868	1,461	—	4,358	19	4,378
計	96,119	44,841	62,033	15,314	218,309	821	219,130
セグメント利益又はセグメント損失(△)	412	19	2,415	1,118	3,966	△ 1,973	1,993

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィルム型リチウムイオン電池および報告セグメントに含まれない製品の製造、販売およびサービスを行っております。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,966
「その他」の区分の利益	△ 1,973
セグメント間取引消去	111
全社費用(注)	△ 752
四半期連結損益計算書の営業利益	1,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

③地域に関する情報

売上高

(単位:百万円)

	日本	米国	欧州	アジア	その他	計
売上高	162,606	15,356	10,784	24,093	1,910	214,751

## 3. 参考資料

## 2021年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

## ・COVID-19の影響が想定以上に長期化も、固定費削減を前倒して推進し、全事業セグメントで黒字確保

## (1) 全社概況

**1Q概況: 減収・各段階の利益が減益も、全ての事業セグメントおよび全社の営業利益、全社の経常利益の黒字を確保**

- ・自動車・航空機の需要低迷、工事停止・遅延、国内の新設住宅着工数の減少、営業活動の制限などが大きく影響
- ・固定費削減と構造改革の取り組みは順調に進捗。COVID-19流行後の社会課題解決に向けた取り組みを推進

**上期見通し: COVID-19の流行が長期化も、固定費削減を徹底し各段階の利益は期初計画達成へ**

- ・国内外のCOVID-19流行とそれに伴う市況低迷の想定以上の長期化を見込み、売上高は下方修正
- ・厳しい環境の継続を想定し、固定費削減・構造改革を前倒して推進。各段階利益は期初計画値を確保

## (2) 第1四半期実績

## ① 全社

(億円、%)

※為替レート

(円)

	2021年3月期	2020年3月期	増減(率)
	1Q累計実績	1Q累計実績	
売上高	2,147	2,496	△ 349 ( △ 14.0 )
営業利益	13	108	△ 94 ( △ 87.5 )
経常利益	7	113	△ 106 ( △ 93.3 )
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 5	29	△ 34 ( — )

		20年3月期	20年3月期	20年3月期	21年3月期	21年3月期	21年3月期	21年3月期
		1Q	2Q	上期	1Q	2Q	上期	期初想定
USD	想定	110	108	109	110	107	108	110
	実績	110	107	109	108	—	—	—
€	想定	125	122	124	120	121	120	120
	実績	124	119	121	118	—	—	—

## ② 事業セグメント別

(億円、%)

	2021年3月期1Q累計実績		2020年3月期1Q累計実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	住宅	961	4	1,074	24	△ 112 ( △ 10.5 )
環境・ライフライン	448	0	513	14	△ 64 ( △ 12.6 )	△ 14 ( △ 98.7 )
高機能プラスチック	620	24	785	89	△ 165 ( △ 21.0 )	△ 65 ( △ 73.1 )
メディカル	153	11	162	16	△ 9 ( △ 5.8 )	△ 5 ( △ 32.7 )
その他	8	△ 19	12	△ 26	△ 3 ( △ 32.1 )	6 ( — )
消去及び全社	△ 43	△ 6	△ 51	△ 10	7 ( — )	4 ( — )
合計	2,147	13	2,496	108	△ 349 ( △ 14.0 )	△ 94 ( △ 87.5 )

## (3) 第2四半期累計予想

## ① 全社

(億円、%)

※全社: 2Q(7月~9月)

(億円、%)

	2021年3月期	2020年3月期	増減(率)
	2Q累計予想	2Q累計実績	
売上高	4,880 [ 5,056 ]	5,565	△ 685 ( △ 12.3 )
営業利益	147 [ 147 ]	414	△ 267 ( △ 64.6 )
経常利益	154 [ 154 ]	421	△ 267 ( △ 63.4 )
親会社株主に帰属する四半期純利益	69 [ 69 ]	296	△ 227 ( △ 76.7 )

	2021年3月期	2020年3月期	増減(率)
	2Q予想	2Q実績	
売上高	2,732	3,068	△ 336 ( △ 11.0 )
営業利益	133	306	△ 173 ( △ 56.5 )
経常利益	146	307	△ 161 ( △ 52.4 )
親会社株主に帰属する四半期純利益	74	266	△ 192 ( △ 72.2 )

注: [ ]内は2020年4月27日公表の従来予想数値

## ② 事業セグメント別

(億円、%)

	2021年3月期2Q累計予想		2020年3月期2Q累計実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	住宅	2,350 [ 2,410 ]	128 [ 128 ]	2,569	185	△ 219 ( △ 8.5 )
環境・ライフライン	958 [ 1,029 ]	15 [ 25 ]	1,132	54	△ 174 ( △ 15.4 )	△ 39 ( △ 72.5 )
高機能プラスチック	1,336 [ 1,370 ]	53 [ 37 ]	1,604	197	△ 268 ( △ 16.7 )	△ 144 ( △ 73.1 )
メディカル	319 [ 329 ]	16 [ 24 ]	342	44	△ 23 ( △ 6.9 )	△ 28 ( △ 63.7 )
その他	18 [ 18 ]	△ 50 [ △ 52 ]	23	△ 53	△ 5 ( △ 24.5 )	3 ( — )
消去及び全社	△ 101 [ △ 100 ]	△ 15 [ △ 15 ]	△ 107	△ 13	6 ( — )	△ 1 ( — )
合計	4,880 [ 5,056 ]	147 [ 147 ]	5,565	414	△ 685 ( △ 12.3 )	△ 267 ( △ 64.6 )

## ※事業セグメント別: 2Q(7月~9月)

(億円、%)

	2021年3月期2Q予想		2020年3月期2Q実績		増減(率)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
住宅	1,388	123	1,495	161	△ 106 ( △ 7.1 )	△ 37 ( △ 23.2 )
環境・ライフライン	509	14	619	39	△ 109 ( △ 17.7 )	△ 25 ( △ 62.9 )
高機能プラスチック	715	28	818	107	△ 103 ( △ 12.6 )	△ 78 ( △ 73.2 )
メディカル	165	4	180	27	△ 14 ( △ 7.9 )	△ 22 ( △ 82.5 )
その他	9	△ 30	11	△ 26	△ 1 ( △ 16.6 )	△ 3 ( — )
消去及び全社	△ 57	△ 8	△ 56	△ 2	0 ( — )	△ 5 ( — )
合計	2,732	133	3,068	306	△ 336 ( △ 11.0 )	△ 173 ( △ 56.5 )

## (4)事業セグメント別概況

## 【住宅】

**COVID-19影響による施工の遅延、集客の減少などの影響を受け減収・減益。コスト削減の取り組み進捗**

## [1Q概況]

## ◆住宅事業

- ・受注棟数は前年同期比77%、受注獲得施策の着実な実施により期初の計画(65%)を上回る
- ・体感型ショールーム展開の拡大継続。WEB集客拡大(前年同期比178%)。オンライン商談の体制を強化
- ・建売の需要は比較的堅調、分譲用土地・建売の在庫拡充(1Q末残高の前年同期比:土地111%、建売153%)
- ・7つの住宅生産工場の運営を一体化(4月)、量産効果の最大化を図る

## ◆リフォーム事業

- ・顧客との接触機会が減少したことにより、売上高は前年同期を下回る(前年同期比79%)
- ・受注残の管理強化による施工・売上の平準化を推進

## [2Q施策]

## ◆住宅事業

- ・ファーストバイヤーを中心にスマートハウスの訴求を強化。受注棟数2Q前年同期比85%、2Q累計同82%を計画
- ・“新しい生活様式”への対応力を高めた「レジリエンス100 STAY&WORK モデル」を発売(7月)

## ◆リフォーム事業

- ・2Qの売上高は前年同期比90%、2Q累計は同85%を計画
- ・ファミエミュージアム展開を加速(奈良、和歌山、北九州)

## 【環境・ライフライン】

**COVID-19影響による国内外の工事の停止・延期、航空機分野の需要低迷を受け、減収・減益**

## [1Q概況]

## ◆配管・インフラ

- ・国内の住宅着工減、工事の停止・延期、海外でのロックダウンの影響により苦戦
- ・プラント向け管材は、早期に経済活動を再開させた中国・韓国での需要が堅調に推移

## ◆建築・住環境

- ・住宅・非住宅向けともに工事遅延の影響受け苦戦

## ◆機能材料

- ・成形用プラスチックシートは、堅調な医療関連部材の需要を着実に取り込むも、航空機向けの需要低迷により苦戦
- ・合成木材は、海外の一部の地域で工事の中断や新規入札の延期が発生するも、主力の欧州は影響軽微

## [2Q施策]

## ◆配管・インフラ

- ・人手不足、インフラ老朽化、災害激甚化などの社会課題解決に資する製品を中心に拡販を図る

## ◆建築・住環境

- ・集中豪雨などの激甚災害対応製品や、介護向け製品「Wells」の拡販を引き続き推進

## ◆機能材料

- ・医療を中心に需要好調な成長分野での新規受注獲得を強化
- ・合成木材は、欧州・米国を中心に引き続き採用拡大を目指す

## 【高機能プラスチック】

**COVID-19の影響を受けて自動車関連の需要が著しく減退、建材需要も低迷。エレクトロニクス分野は堅調**

## [1Q概況]

## ◆エレクトロニクス

- ・スマホ・タブレット市況の回復が想定よりやや遅れるも、非液晶分野における拡販が進捗し増収

## ◆モビリティ

- ・COVID-19影響により、世界自動車市場が著しく減退。需要低迷の中、高機能品の販売は堅調

## ◆住インフラ材

- ・インドでのロックダウンが、塩素化塩ビ樹脂の販売に影響。建築物の減少を受けて耐火材料も苦戦

## ◆全分野共通

- ・固定費の削減が計画以上に大きく進展

## [2Q施策]

## ◆エレクトロニクス

- ・半導体実装および部材接合、放熱材などの非液晶分野における拡販に注力

## ◆モビリティ

- ・ヘッドアップディスプレイ用中間膜などの高機能膜の販売拡大

## ◆住インフラ材

- ・断熱材料・不燃材料の拡販推進

## ◆全分野共通

- ・事業構造改革とサプライチェーン全体のコスト革新をさらに前倒して推進

## 【メディカル】

**COVID-19流行に伴う検査需要減少の影響により減収・減益**

## [1Q概況]

- ・外来患者数減少に伴う検査需要減少の影響を受け、検査事業が苦戦。医療事業は期初計画通り進捗
- ・米国・アジアにおけるCOVID-19検査キットの拡販が順調。新製品の市場投入が進捗(5品目)

## [2Q施策]

- ・外来患者数減少による影響長期化を見据え固定費抑制を徹底。引き続き新製品の市場投入を推進